

カリキュラム

機構施設名：奈良職業能力開発促進センター
 実施機関名：人材開発マネジメント株式会社

A. 生産管理	原価管理	原価管理とコストダウン
---------	------	-------------

コースのねらい	低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	原価管理とは	(1)原価管理と原価計算の違い ・昨今の経済情勢によるわが社への影響を考えながら、原価管理、原価計算の目的と原価のしくみを解説する。 (2)原価計算手順の理解 ・製品やサービスの原価を計算する「原価計算」の考え方や計算方法について解説する。 【演習】原価計算演習(丸めた数字の活用)(0.5H) (3)設計～製造 原価管理の流れを理解 ・工程間での標準工数・標準原価の設定と実際にかかった実工数・実際原価の差異があることを問題提起し、今後のコスト削減への視点を養う。 (4)損益分岐点分析 ・損益分岐点分析のポイントとその活用方法を解説する。 【演習】損益分岐点演習(0.5H) (5)限界利益の理解 ・限界利益を理解して、効率的にコストダウンを行う方法を解説する。 【演習】コストダウンを検討する(0.5H)	3.0
	2	コスト削減	(1)コスト削減の着眼点 ・原価構成、損益分岐点、現場での着眼点を解説する。 【演習】原価の3要素が変化したら?(0.25H) (2)管理と改善によるコストダウン ・5S、合理化の3S、改善の4要素、品質対策と不良対策について解説する。 【演習】5Sチェックシートで改善策を考える(0.25H) (3)材料費・加工費における目の付け所 ・材料費の低減、材料単価、外注費、外注先評価と指導について解説する。 【演習】チェックシートで現状の問題点を把握する(0.5H) (4)原価企画と目標原価の設定 ・製品にかかる特定の目標原価を設定して、その達成のために実施される初期段階での総合的管理活動について解説する。	2.0
	3	IE手法による標準時間設定方法	(1)IE(Industrial Engineering)の概要 ・IEの基本となる作業改善IEアプローチの概要と活用の仕方について解説する。 (2)生産現場におけるコストダウン活動事例と今後の展開の仕方	0.5 0.5
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

初任者でも理解できるように、平易な言葉を活用しながら、事例や演習を通して学びます。
 原価シミュレーションからロス低減のための改善についても、企業収益向上の視点を取り入れて、グループワークをしながら学びます。
 またグループワークで受講者同士がコミュニケーションをとることで、他企業の取り組み事例などを知り、実務への展開や応用方法を深めることができます。